

VISTA

ビスタ

TOKAI UNIVERSITY EDUCATIONAL SYSTEM

学園教職員をつなぐコミュニケーション・ペーパー

学校法人 東海大学

VISTA
vol.70

2002年2月10日号 通巻 第70号

編集・発行/法人企画調整室広報部門

印刷/東海大学教育支援センター印刷業務課

P2

問題提起特集

学費問題について考える②

P4

「無限の会」が全国組織
として再スタート!

～同窓教員の資質向上と教員志望学生の
より良い指導を目指して～



P6

東海大学医学部附属八王子病院 開院直前病院長インタビュー
21世紀型の新しい病院をめざして



▲開院に向けたリハーサルの様子。

P6

2001年度松前重義賞「学術」部門
受賞者インタビュー①

東海大学健康科学部
社会福祉学科
小林隆児教授



P8

インフォメーション 各種講座・イベントほか

望
星
語
録

昨年、学園の創立者松前重義生誕百年でした。創立者が学園を創立した背景や足跡を追体験し、建学の精神を思い起こして今後の学園の発展に生かすための一つの材料として、雑誌『望星』で連載された「望星語録」を掲載します。

「国の姿は水の低きに流れるがごとく」(『望星』1996年5月号)

憂うべきは、最近の思想と道徳の頹廃であります。都市は希望を失った国民の歓楽場と化し、犯罪は日に日に増加しつつあります。金融は利潤に奉仕し、その計画性は失われ、国の姿は水の低きに流れるがごとく、経済の苦悩をよそに濁流に押し流されつつあります。これは一にかかって吉田内閣の金融資本の奴隷としての自由主義的資本主義経済の生んだ悲劇であると思っております。(出典・平成元年刊『松前重義 その政治活動』第一巻、昭和28年第15回国会における質問演説より)

●解説●

住専の不良債権問題をめぐる国会質疑を見ると、日本人のさもしさ、卑しさ、品性の下劣さもここまで来たかと慨嘆したくなる。借り手の不動産屋、貸し手の銀行家、大蔵官僚、政治家ことごとくが、金に執着すること、それを恥じざること、責任を他に転嫁して恬淡と富貴に浴するさま、ほとんど守銭奴の風貌姿勢である。日本人はこの五十年、ひたすら卑しく、さもない守銭奴へと骨身を削って精進してきたかのごとくである。

問題提起特集

学費問題について考える②

VISTA67号では、学費と近年の大学が抱える問題について、“本当に強い大学”の特集を組んだ『週刊東洋経済』編集部
の広瀬泰之氏に取材し、掲載しました。今回は東海大学の内側から見た学費の捉え方、また学費と受験者数の関係、今後の課題などについて、香取草之助副理事長にお話を伺いました。

一般的に東海大学の学費は高いと言われているようですが？

香取 確かに東海大学の学費は高水準にあります。しかし、すべての学部が他大学に比べてトップに近いというわけではありません。図表①②でも明らかのように、一般に文科系はトップに近いところに位置していますが理工系はそれほどではありません。ですから単純に「東海大学の学費は高い」ときめつけるのは早計です。

文科系の学費が高い理由の一つは他大学に比べて入学定員が少ないからです。

これは本学を総合大学として構想したとき、文対理工の比率は概ね3：7程度であるべきだというのが創立者の理念であったからです。

ところで、いま「高い」という言葉を使いましたが、これは「他大学に比べて高い」という意味です。この側面から学費を論ずるのは競争力を問題にしたときには意味があると思いますが、逆に競争力の強弱に学費がどう影響を及ぼすかは、高ければ高いほど競争力を失うと断定するほど単純ではありません。図表③を見てもわかるように本学の受験者数の推移は必ずしも学費の推移と関連しているというより、残念ながら全国の大学志願者総数の推移にひっぱられているように見えます。

勿論学費は安いほうが一般的に競争には有利ですが、その有利さの重みがどの程度かはよくわからないのです。

授業料が高いか安いかは多面的に論じなければならぬと思います。

昨年「学費検討プロジェクト」が立ち上がりましたが？

香取 東海大学の学費は1988年から“スライド制”というシステムを導入しました。人事院勧告や消費者物価、また全国の標準建築費などと照らし合わせて在学生全員一斉に学費を変える(値上げする)のが“スライド制”です。当時多くの大学がスライド制を導入しました。ところが1993年あたりからの経済不況による学費の家計への圧迫などを考えると一方的に学費を上げることができなくなりました。そこで本学は1994年度からスライド制を凍結したのです。さらに昨年、スライド制を廃止することを決定しました。スライド制は経済が右肩上がりの時代の産物です。スライド制そのものは意味を失ってしまったのです。そこでスライド制を廃止し、「学費検討プロジェクト」を発足させて本学独自の算出方法で学費

を決定していこう、ということになったのです。

学費はどのようなファクターによって決定されていくのでしょうか？

香取 最初にお話したように他大学との比較という側面も現実には無視できません。また学費は大学の収入の中で補助金、資金運用益とともに大きな比率を占めています。消費支出と呼ばれるもののおよそ半分が学費によってまかなわれています。またそのさらに半分の額が人件費にあたります。ところが補助金は年々減少の一途をたどり、資金運用益はほとんど0に近くなってしまいました。学費(正確には学生生徒納付金といいます)による収入が重要な地位を占めざるを得なくなりました。

もう一つ大事なのは大学の考え方を学費に反映させることです。例えば以前、第二工学部の学費は工学部の1/3だったのです。その当時は昼間働いている学生しか入学させませんでした。昼間一生懸命働いて、自分で学費を稼ぎ、夜勉強する学生を大学全体で応援しよう、という考え方のもと、赤字覚悟でこの学費を設定していたのです。しかし近年、その入学基準を緩め、アルバイトや定職を持たない人たちも入学するようになったため、赤字だけは埋めようということでは現在は工学部の1/2程度に設定されています。このような大学のポリシーを学費に反映させていくことも重要だと考えています。

学内には、学費が高いから受験者が集まらない、という声もあるようですが。

香取 先ほどお話した通り全く無関係ではありませんが、学費が下がると受験者が増える、学費が上がれば受験者が減る、というような単純な図式ではないと私は考えています。学費が上がり続けている時に必ずしも受験者数は減ってしま



卓県、兵庫県の方もいらっしゃいます。また、学園発祥の静岡県など、事務局では実際には全国にはもっと多くの同窓教員の組織があるのではないかと考え、「今年からは各県の『無限の会』会員の組織化を行っていききたいと思います」(寺田課長)と意欲を見せています。

現在「無限の会」会員は2568名で東海大学の卒業生21万人の約1%にあたります。少子化が進行している昨今、新たに教職に就ける人は全国で約1万人(以前は3万人)程度。東海大学の学生で教職課程を履修している人数は700~800人、そのうち、実際に先生として就職できるのは20~30人程度で、非常に難しくなっているのが現状です。しかし、この先さらに先生の需要が低下していくのかというと、「ここにきて、状況に変化が見られるようになってきています。それは、小学校では先生が足りなくなってきたことです。小学校では1クラス20名強ぐらいの少人数制クラスに移行しているところも多く、その結果クラスの数は逆に増えているのです。また、チームティーチングと言って、何人かで1クラスを教えるという授業形態も随分進んできています。さらに、一時大量に採用した時期の先生たちが定年を迎えているというのも原因のようです。つまり、少子化は確実に進行しながらも、先生不足という現象が起きていて、厳しいと言われながらも需要は少しずつ増えているのです」(寺田課長)。

総会では、秋山仁・学校法人東海大学教育開発研究所次長による「生徒の生殺与奪の権は先生がもっている」と題した講演会も行われました。講演の中で秋山

教授は、新学習指導要領について触れ、「この文部科学省が告示した2002年教育改革案はわが東海大学の建学の精神に非常に近いものなのです。建学の精神では、体を鍛え、知能を磨くとともに、人間、社会、自然、歴史、世界などに対して幅広い視野をもって、一人ひとりが人生の基盤となる思想を培い、人生の意義についてともに考えつつ希望の星に向かって生きていこうと語りかけています。そしてこの精神は、徳・体・知のバランスのとれた教育を推進しようとする新学習指導要領と一致しているではありませんか」と述べた上で、わが国の教育の現状と問題点、さらに目指すべき真の教育のあり方について、約40分にわたり講演を行いました。その熱のこもった口調に、会員の方々もすっかり聞き入り、真剣にメモをとる姿も見受けられました。

その後、部屋を移し、懇親会に入ると、参加者全員がなごやかな雰囲気は一変。先生方の親睦が交わされました。懇親会の途中、湘南校舎から松前達郎総長が駆けつけ、会の発展を祈る挨拶とともに新たに4月から教員になる東海大学4年生にエールを送りました。学生たちが、それぞれ将来の抱負を述べると、会場全体に笑

みがこぼれ、明るいムードに包まれました。また、遠く沖縄からこの会に参加した沖縄支部の内原英雄支部長が挨拶に立ち、「各支部や事務局との交流を密にしていきたい」と抱負を述べました。

懇親会の最後、飯塚峻総合教育センター教授は、閉会の辞で「教育の質をよくするには、教員の質を変えなければいけない。皆さんには切磋琢磨して東海大学の後輩のためにがんばっていただきたい」と述べ2001年度「無限の会」総会は終了しました。

「無限の会」の事業についての具体案

- ①同窓教員の向上発展に対する研修
 - ・ 研究論集の公募及び発行
 - ・ 指導事例研究会
 - ・ 指導主事、管理職養成に関する研修会
 - ・ 中学・高校教員の大学内における再学習の場の設定 等
- ②教員希望者の育成に対する協力及び指導
 - ・ 助言
 - ・ 大学の教員養成講座における中学・高校現職教員の体験発表
 - ・ 大学の教育実習ガイダンス等における協力
 - ・ 上記①で実施する指導事例研究会における教員希望学生の聴講
 - ・ 「無限の会」会員と大学、教員希望学生を結ぶ機関紙等の発行 等

「無限の会」会員数<2001年度>

| | 神奈川支部 | 千葉支部 | 東京支部 | 埼玉支部 | 新潟県 | 沖縄県 | その他 | 合計 |
|---------|-------|------|------|------|-----|-----|-----|------|
| 小学校 | 87 | 71 | 24 | 44 | 31 | 5 | 11 | 273 |
| 中学校 | 378 | 255 | 147 | 118 | 100 | 17 | 78 | 1093 |
| 高等学校 | 314 | 222 | 159 | 76 | 81 | 29 | 59 | 940 |
| 特殊・専修学校 | 61 | 22 | 20 | 8 | 14 | 1 | 3 | 129 |
| 行政機関 | 16 | 35 | 2 | 12 | 15 | 5 | 2 | 87 |
| その他 | 16 | 0 | 10 | 12 | 0 | 7 | 1 | 46 |
| 合計 | 872 | 605 | 362 | 270 | 241 | 64 | 154 | 2568 |

その他...1991年度から合格の報告を受けた学生(卒業生)について名簿を作成したリストよりカウント

「無限の会」参加者からの一言

金子良夫・無限の会会長
(正則学園高等学校)



自分の教え子も東海大学に入学してほしい。また、大学から新しい知識を学びたいですね。松前重義博士がおっしゃっていた「教育は無限である」という言葉からこの会の名前がついたとお聞きしていますが、この名に恥じないよう、よき交流の場となる会にしていきたいと思っています。

谷井明・千葉支部副会長
(東海大学付属望洋高校)



東海大学高輪台高校を卒業し、東海大学に進み、卒業後、現在の学校に教員として勤務しております。大学に何かを望むのではなく、自分には何ができかわかりませんが、私は東海大学の出身であることに誇りをもって東海大学のために何か役に立てればよいなと思って、役員をやらせてもらっています。

内原英雄・沖縄支部長
(那覇工業高等学校)



うちの支部が発足したのは1998年で、まだ3年余り。やっと大学との交流の場ができてうれしく思っています。このような総会に参加でき、皆さんとの交流や情報交換、連絡ができて、将来への明るい目標ができました。なにぶんにも沖縄は動き回るだけで大変です。現在、沖縄諸島全島で64名の会員ですが、これを少しでも増やしていきたいと思っています。

東海大学医学部附属八王子病院 開院直前病院長インタビュー

21世紀型の新しい病院をめざして

3月1日(金)東京都・八王子市に開院予定の東海大学医学部附属八王子病院。開院まで1ヶ月を切り、準備も着々と進行中です。開院も迫った多忙な時期、八王子病院開設準備室室長で開院後院長に就任される松崎松平教授に、現在の準備状況と今後の抱負についてお話を伺いました。

現在の進捗状況はいかがでしょう。

松崎 昨年の11月30日に建設会社から建物の引渡しを受け、それ以降、内部の準備が始まりました。現在は、機器・機具の搬入、コンピュータのLAN構築及び細かい備品等を入れる作業が続いています。

八王子病院の特徴についてお聞かせください。

松崎 八王子病院は、21世紀型の全く新

しい病院として誕生します。その特徴のひとつは、コンピュータを駆使した診療及び管理・運営システムです。「電子カルテ」といって、患者さんの情報は全てコンピュータで管理され、それを病院全体で共有していくシステムを導入するのですが、これは日本でもまだ数少ない新しい試みです。このシステムを上げるために、約2年間、さまざまな分野においてワーキンググループが検討を重ねてきました。あらゆる部門の人間の流れや物流に合うよう八王子病院独自のシステムを構築しています。このシステムを使い、実際の現場を想定して、リハーサルを行っています。第一回目のリハーサルは1月14日(月)、現在決まっている職員全員(150人程度・外部委託含む)が参加して行われました。いくつかの診療パタ

ーンを想定しながら、本番さながらのシミュレーションを行いました。うまくいった部分もありましたが、まだ完成には至っていませんので、開院までに全員が協力し合いながら綿密なリハーサルを行っていきます。

八王子病院は東京・多摩地域でどのような位置付けなのでしょう。

松崎 60万人都市とも言われる八王子市に、大きな市民病院や公立病院が少なく、救急診療に不便をきたしていたという背景がありました。そこで、八王子市から、東海大学に大きな本格的な病院を作ってほしいとの打診があったのです。

通常、こういう大病院ができる時には地元医師会から大きな反発があるものなのですが、こうした経緯から八王子病院

2001年度松前重義賞「学術」部門受賞者インタビュー①

東海大学健康科学部社会福祉学科 小林隆児教授 — 自閉症の成因と治療に関する臨床的研究 —



学園内の教育機関に着任後、研究成果が学術誌や学会で高い評価を得て、それが社会還元または教育・診療などに活用・貢献しているような優秀な研究に対して贈られる松前重義賞「学術」部門。2001年度は3名の先生方が受賞されました。今号では自閉症の早期治療介入の実践と臨床教育、臨床研究において大きな成果を上げている東海大学健康科学部社会福祉学科の小林隆児教授に研究内容についてお話を伺いました。

受賞おめでとうございます。ご感想はいかがですか。

小林 ありがとうございます。なにしろ長年続けてきた自閉症治療という研究テーマが学内で高い評価を受けたことをほんとうにうれしく思っています。私はこの学科設立に携わってから約8年になりますが、頑張ってきた甲斐があったと思っています。

受賞された「自閉症の成因と治療に関する臨床的研究」の内容について教えてください。

小林 私が研究・治療対象としているのは、0歳～4歳ぐらいで人と関係がとれない、つまり言葉や身振りによってコミュニケーションがとれない子供なのです。この「関係がとれない」ということの実態がまだ医学的に解明されていませんの

で、それをどう捉えたらよいのかを研究しています。通常、病気はその人個人の中にあるという仮定でその原因を探っていきますが、これは大人の治療の場合で、乳幼児期の自閉症の場合はそれとは異なるというのが私の独自の見方なのです。0～2歳ぐらいの子供の脳は、発達の初期段階であり、まだ成人のように明瞭に形作られていません。その早い時期に好ましい関係作りをしていくことが、自閉症治療には効果的で、かつ脳の発達にも極めて重要だと考えています。脳そのものも常にまわりの環境の刺激を受けながら発達していきますので、できるだけ早い段階で望ましい環境、とりわけ対人環境を作ることが大切なのです。特にこの時期は親子の関係が深まらなければいけないのですが、自閉症の子供とはなかなかその関係が深まらない。深めるた

は市民や医師会から歓迎されています。きわめて珍しいケースといえるでしょう。

また、この多摩地区には25年の実績を持つ東京医科大学八王子医療センター(約600床)という大学病院があります。その病院と東海大学八王子病院が協力し合い、切磋琢磨して地域医療に貢献していくことが使命です。

八王子病院のモットーをお聞かせください。

松崎 東海大学医学部には、創立者松前重義博士の「建学の精神」に基づいた「ヒューマニズムと科学の調和」という設立の理念があります。それを医療の場で具現化していくことが基本になります。

病院の運営を円滑に行うためには全科の医師と看護師・技術職員・事務の方のサポートが一体化された「総合力」が重要です。とかく情報交換や業務協力が各診療科内や部門だけで完結してしまい、十分横の連携がとられていない場合があります。この病院では、全ての部門が綿密な横の連携のもとに、診療・運営・サービスを行い部門間の“隙間”を埋め

るよう心がけていきます。そうすることで、診療効率も上がるし、病院経営にも効果があります。当然、患者さんたちにとっても良い病院となるでしょう。

さらに、大学病院である以上、学生及び卒後の研修の場としてもこの病院をうまく機能させていくことが求められています。「良医の育成」のモットーを実現する場としていきます。

今後の抱負と開院までのスケジュールは。

松崎 地域との連携を深め、より親しんでいただける病院を目指して、社会貢献活動も積極的に行っていこうと思えます。例えば、院内の設備や豊かなスペースをうまく利用して展示会やコンサートなど文化面からのアプローチも必要なのではないでしょうか。総合大学としての強みを十分に発揮しながら、患者さんたちのQ.O.L(Quality of Life)の向上に努めていきます。

今後は、病院を広く市民にお知らせする作業も進めていきます。2月23日(土)には竣工式典を執り行い、八王子市長や

市議会議員の方々に完成した八王子病院を披露します。そして2月24日(日)には地域の方々に一般公開することになっています。診療の最終リハーサルは2月26日(火)に実施し、万全の状態です。開院後3月1日の開院を迎える予定です。開院後3月いっぱい、救急診療だけを行います。4月1日から全科的に一般診療を開始する方針です。



▲八王子病院開設準備室 松崎松平室長

めには、子供の気持ちを感じ取った上で対処しなければいけないのです。ただ、そのことが最もむずかしいのが自閉症の子供なのです。

具体的には、どのような方法で治療するのでしょうか。

小林 母子治療室という特別な部屋を設けているのですが、この部屋には3台のカメラをセットして、部屋での親子の様子や子供の反応を隣の部屋からモニターで観察します。これは動きをじっくり観察しながら介入の方法を考えるためです。

例えば、子供が初めてボールを見たときに、じっとそのボールに注目します。お母さんがこのボールは弾んだり、投げたりして遊ぶものだよと教えても、その子にとってはその意味がわからない。その子がいま注目しているのは、ボールが弾むことではなく、そのボールの色であったり、表面の輝きであったりする。その時、本来の遊び方はどうでもよくて、ボールのきれいな色がその子にとっては大きな関心事なのです。私たちからみると、それが本来の望ましい遊び方だからといって投げることを子供に押し付けて

も、その子はそのように遊ぶことに気持ちが引きつけられません。このような関わりはその子にとってはとても侵襲的に映っているのです。治療において最初に大切なことは、その子供たちをじっくり観察し、何に関心を向けているのかに私たちが気づくことなのです。

普通子供は、生後7～8ヶ月頃になると、急速にお母さんに甘えたがりますが、自閉症の子供は異常なほどの知覚過敏がありますから、お母さんの働きかけに対して警戒心や恐怖心が先にでます。その警戒心をどうやって和らげていくかというプロセスが、治療のポイントになります。これがうまくいくと子供はみるみる変わってきます。まず自分の気持ちを表に出して甘えてくるようになります。そうすれば子供と気持ちが響きあい共鳴し、子供が何に関心を持っているのかが手にとるようにわかってきます。この状態は子供にとっても心地よく、その心地よさが脳を活性化するので、これが子供の脳の発達には非常に重要なことです。ここまでくれば、親がやっていることを真似したがるものです。そうすればしめたもの。言葉をはじめとす

る親からの働きかけは生きたものとして子供に染み透ってゆくのです。

非常に根気のいる研究ですね。

小林 この自閉症の治療は、私たちが子供の世界にどうやったら入っていけるか、子供たちとの関係をいかにうまく持つかで決まります。そして治療をするには、0～2歳ぐらいまでの言葉を覚える以前、感情や気持ちが前面に出て関係を持つとする時期が大事です。根気のいる研究ですが、毎日が新たな発見の連続で楽しくて仕方がありません。ここで取り組んでいる研究は、決して自閉症に限られたテーマではなく、人間の存在そのものに対する新たな理解を切り開いてくれる可能性さえ秘めていることが、その大きな理由だろうと思っています。

今後は学生たちを鍛えて、感性の豊かな人材を育てていきたいと思っています。また、ここでの発見を世界に発信していきたいですね。

先生のご活躍を楽しみにしています。ありがとうございました。

各種講座・イベント

**学校法人東海大学
エクステンションセンター講座
スポーツ&レジャーマネジメント連続講座**
～スポーツ&レジャーマネジメントに
必要な基礎知識を身につける～

- ◆期間/2002年2月21日(木)
～3月11日(月)<全6回>
- ◆時間/19:00～20:30
- ◆会場/東海大学校友会館
<第1回>2002年2月21日(木)
「スポーツ&レジャーマネジメントに
期待すること」
◎講師/西野 仁(東海大学体育学部
教授<Ph.D.>)
<第2回>2002年2月25日(月)
「スポーツクラブの経営管理」
◎講師/村井良孝(セントラルスポーツ
(株)副社長)
<第3回>2002年2月28日(木)
「民間団体のムーブメント戦略」
◎講師/浅野祥三((財)日本レクリエ
ーション協会事務局長)
<第4回>2002年3月4日(月)
「変化する公園運営の未来」
◎講師/飯塚良一((株)緑政計画研究
所代表取締役)
<第5回>2002年3月7日(木)
「スポーツ&レジャーのマーケティング
リサーチとPR」
◎講師/永瀬義規((株)ベースボ
ール・マガジン事業社事業局長)
<第6回>2002年3月11日(月)
「スポーツ&レジャーマネジメントの
基本知識」
◎講師/野川春夫(順天堂大学スポ
ーツ健康科学部教授)
- ◆対象/スポーツ&レジャー施設、関
連組織、企業等のミドルマネジメン
ト及びマネジメントに関心のある方
- ◆定員/50名(先着順)
- ◆参加費/12,000円(全6回)

- ◆応募受付時間/各講座開講3日前ま
でにお申し込みください。
- ◆主催/学校法人東海大学エクステ
ンションセンター、特定公益増進法人
(財)日本レクリエーションセンター協会
- ◆申し込み方法/まずは、パンフレ
ットをご請求ください。

- ◆問い合わせ・申し込み先/
学校法人東海大学エクステンション
センター
TEL.03-5793-7133/FAX.03-5793-
7132
E-mail: ext@ttc.u-tokai.ac.jp
URL: http://www.tokai.ac.jp/ext/

東海大学出版会が「第17回祥会出版文化賞」を受賞

東海大学出版会(会長:松前達郎総長)は、専
門書出版社112社で構成される社団法人出版祥
会(東京・理事長 江草忠敬)が優れた出版活動
を顕彰する「第17回祥会出版文化賞」を受賞。
1月17日、東京・新宿の日本出版クラブ会館で
贈呈式が行われました。
今回の受賞は、「日本産魚類検索一全種の同定
(第2版)」「日本近海産貝類図鑑」「ヘルツ日本

文化論集」などの刊行と併せて、40年にわたる
多彩な出版活動が高い評価を受けたものです。
贈呈式で同出版会出版部の松前紀光部長は、
「40年の活動が評価されたことは、現在の出版
不況やテロリズムの時代にこそ大きな意味を持
つ。すでに小会を去っていった元同僚や先輩た
ちの業績が受賞の対象に含まれていることもう
れしい」と受賞の喜びを語りました。

ソルトレーク冬季五輪 がんばれ!東海大学

2月8日から24日まで開催される、2002年度冬
季オリンピック競技大会に、本学園関係者12
名が出場・参加します。皆さんの温かいご声
援、よろしくお願ひいたします。

学園の付属高校及び大学を卒業された出場・参加者 【選手】

- 北海道東海大学
<スキージャンプ複合>
高橋大斗(国際文化学部・3年)
<スキーフリースタイルモグル(男子)>
附田雄剛(1998年度卒・チームリスト所属)
<スキーフリースタイルモグル(女子)>
里谷多英(1998年度卒・フジテレビスキークラブ所
属)
- 東海大学
<ボブスレー>
大石博暁(1991年度卒・グローバリー所属)
- 東海大学第三高等学校
<スピードスケート>
外ノ池亜希(1996年度卒・アルピコ所属)
- 東海大学第四高等学校
<ジャンプ>
原田雅彦(1986年度卒・雪印乳業所属)

【コーチ・トレーナー】

- 東海大学
<スピードスケートトレーナー>
竹澤いち子(1990年度卒・医)緑杉会本町クリニック所属)
- 東海大学第四高等学校
<ノルディックスキー複合コーチ>
阿部雅司(1983年度卒・東京美装興業所属)

学園の付属高校OBで、他の大学を卒業された出場・参加者 【選手】

- 東海大学付属清安高等学校OB
<ボブスレー>
井上将憲(付属清安高校卒・順天
堂大学卒・東雪工業所属)
 - 東海大学第四高等学校OB
<リュージュ>
牛島茂昭
(第四高校卒・仙台大学卒・
徳島出版印刷所属)
- 【コーチ】
- 東海大学第四高等学校OB
<ジャンプコーチ>
菅野範弘
(1980年度第四高校卒・



『VISTA』74号より、リレーエッセイ連載開始!

昨年4月より学園創立者松前重義博士生誕百年
を記念して1年間にわたり掲載してきました
『望星語録』にかわって、『VISTA』74号(4月
10日号)より、教職員によるリレーエッセイを
連載致します。このリレーエッセイは、指名制
のリレー形式で、最近仕事で感じたことや学園
への提言をご執筆いただくものです。文字数は
400字程度で執筆者ご本人の顔写真も併せて掲
載致します。指名された方は、ぜひ執筆のご協

力をお願いします。
これからも『VISTA』は、学園教職員の皆さん
をつなぐコミュニケーション・ペーパーとし
てより一層の努力をさせていただきますので、ど
うぞよろしくお願い致します。また、引き続き皆
さんからのご意見やメッセージもお待ちして
います。
◆リレーエッセイの体裁/400字以内の原稿と
ご本人の顔写真を掲載

【お詫びと訂正】『VISTA』69号「総合企画会議常任委員に聞く 2002年、理事「年頭メッセージ」(P.4~5)の
記事で、香取章之助副理事長のメッセージ中に「成文化」とありますのは、「成文化」の誤りでした。また、兼弘法子
理事のメッセージ中に「苛酷」とありますのは、「過酷」の誤りでした。ここにお詫びして訂正致します。

ご意見・ご感想をお寄せください

〈法人企画調整室広報部門〉代々木校舎

TEL.03-3467-2211(代) 内線:217~219 FAX.03-3485-4939
Eメールアドレス: pr@tokai.ac.jp (件名: VISTA係)

学校法人 東海大学